

# 5000万人に及ぶ中国の飲料水中フッ素、ヒ素、ヨウ素による中毒患者。

Source: South China Morning Post | June 23rd, 2015 | By Nectar Gan

Location: [China](#)

South China Morning Post (2015年6/23)によると、「中国の高濃度フッ素地区は1000ヶ所以上あり、約60万人がヒ素の脅威にさらされている」と記事は報じている。

何千万人という中国人が、何十年にも亘る行政の改善努力にもかかわらず飲料水中の危険な濃度のフッ素とヒ素に暴露している、と地方のメディアは報じている。

新華社関連の雑誌 (Oriental Outlook) によると、2013年には全国1000ヶ所以上の地区でフッ素濃度が高く、疾病管理予防センターの専門家は月曜日に以下のように述べている。約2100万人がフッ素の過剰暴露により骨フッ素症に罹患している。

国立地方病管理センターの Gao Yanhui 氏によると、この病気は骨と関節が痛み、重症では手足が不自由になる。Gao 氏によると全国では8700万人がこの危険にさらされている。彼によると、最重症地区は湖南省北部平原地区である。

ヒ素中毒はもう一つの関心事である。中国大陸の約半分の省にある131地区、約60万人が罹患しており、長期暴露は皮膚疾患や肺、膀胱、皮膚、腎臓がんを引き起こす。

水質の良くない飲料水に含まれる過剰なヨウ素摂取により3000万人が甲状腺腫の危険にさらされており、10年前に実施された全国調査の3098万人より少しは改善している。

中央政府は長期にわたり地方の飲料水改善に数百億元を費やしてきた。しかし地方政府は依然として仕事を継続する財源に乏しい、と記事は報じている。

また報告は、吉林省 Qianan 地区の改水プロジェクトに言及している。プロジェクト管理レポートからの引用によると、これまでに使われた59万元(74万6千香港ドル)の1/3は中央政府が支払い、省当局がその37%を支出し、残りは公的資金で賄っている。

Gao 氏は「深刻な地方病地区は大部分が貧困地区であり、地方政府は病気の予防や管理ができない」「また「住民が頼れるのは、高次の政府レベルの基金である改水プロジェクトのみである」と述べた。

地方病疾病管理の別の専門家は、改水プロジェクトは多岐にわたる政府部門が関わっており、効率的な管理が困難である。

既存のシステムでは、厚生官僚はプロジェクトの主導権を取れず、プロジェクトの構成と用地の選定に責任のある水利庁には地質学の専門家がない。

「水利庁部門は水質の理解力がない、彼らの掘る井戸の水質は、しばしば標準以下である。」と彼は言っている。

報告ではフッ素もヒ素も濃度については明示していない。しかしフッ素の国家基準は1ppmである。WHOの勧奨する濃度は1.5ppmである。

この記事は、飲み水によって何百万人もが病気になっている、と題して *the South China Morning Post* 紙に掲載された。